

政策研究大学院大学

科学技術イノベーション政策プログラム (GiST)

GRIPS Innovation, Science and Technology Policy Program (GIST)

プログラム概要

本プログラムでは、多様な学問分野の知見を統合し、社会的課題を的確に捉え、科学的なアプローチを用いて、科学技術イノベーション政策の企画・立案、実行、評価、修正を行うことのできる人材を育成するため、科学技術イノベーション政策を専門とする学位プログラム (博士課程、修士課程)、実務者向けの短期研修等からなる、総合的な教育・研修プログラムを提供しています。

教育目標

主に実務経験を有する社会人を対象に、以下の能力を養うための総合的なプログラムを提供します

1) 科学的なアプローチに基づく政策研究能力

- 先行研究のレビュー、理論に基づく仮説の構築
- 客観的事実やデータによる仮説検証
- 分析結果に基づく含意の考察

2) 科学技術イノベーション政策の企画・立案、実行、評価、修正を行う能力

- 過去の様々な内外の政策及び政府の介入とその効果に対する知識
- 科学研究やイノベーションのプロセスに対する理解
- 現実的な政策の形成プロセスに関する理解と企画・実践する能力
- 海外の関係者・機関との議論・交渉の能力



【想定される対象者】

- 中央省庁の行政官、立法府 (国会、政党、議員等) の政策スタッフ
- 地方公共団体の行政官
- 企業戦略の企画立案に関わる経営幹部及び候補者
- イノベーションを通じた経済成長や開発、技術移転等と密接に関わる国際機関幹部職員
- 研究機関やファンディング機関のマネジメントスタッフ
- 国や地方の政策形成に関わるシンクタンク職員
- 本分野の研究と次世代の教育をになう研究・教育職の志望者など

本プログラムの特色

1) 国際的な教育・研究環境

- 本学の学生の約2/3は外国政府の中堅行政官を中心とする留学生です。本プログラムの学生は、これらの留学生と机を並べ、議論し、切磋琢磨しつつ、学ぶことができます
- また、ジョイントアポイントメントにより招聘した海外の一線級の研究者による教育・研究指導を受ける機会を提供しています。



2) 国内外のネットワークを通じた、生きた政策課題に触れる機会の提供

- 本学は、政策研究を専門とする大学院大学として、国内だけでなく、海外の行政機関、国際機関、政策研究機関等とネットワークを有しています。本プログラムの学生は、これらのネットワークを通じて、現実の生きた政策課題に触れるさまざまな機会が提供されます



博士課程プログラム

【要件】最初の1年間は、集中的なコースワークを通じて、理論や分析手法を体得

2年目以降は、ゼミなどの出席が中心でパートタイム就学が可能

【言語】英語での科目履修が求められます

【入学】4月、10月

【学位】博士 (政策研究) Doctor of Policy Studies

博士 (公共政策分析) Ph.D. in Public Policy

学位取得までのイメージ

1年目		2年目		3年目以降	
春	秋	春	秋	春	秋
区分Ⅰ: 6単位 (基礎科目)	区分Ⅱ: 4単位 (専門科目)				
	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)
QE		博士論文		最終審査	

区分Ⅰ・Ⅱは主として定期講義、Ⅲは夕方以降に実施する

QE: Qualifying Examination (論文提出資格試験)

修士課程プログラム

【要件】1年間のコースワークを通じて、基礎科目・専門科目を履修し、

問題分析と政策・戦略の企画に必要な知識・方法論を身につけた上で、その後半年間で自ら選んだ課題について政策提言 (ポリシーペーパー) を作成

【言語】一部科目は英語で提供されます

【入学】4月

【学位】修士 (公共政策) Master of Public Policy

学位取得までのイメージ

1年目		2年目	
春	秋	春	秋
区分Ⅰ: 16単位 (基礎科目)	区分Ⅱ: 12単位 (専門科目)		
	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)	区分Ⅲ: 1単位 (課題研究)	
		ポリシー・リサーチ・ペーパー	
		審査	

区分Ⅰ・Ⅱは主として定期講義、Ⅲは夕方以降に実施する

短期研修等

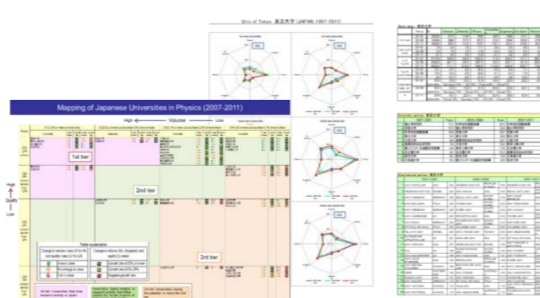
1) 政策担当者・実務者向け短期研修

- 若手行政官向け短期研修・セミナー

文部科学省等の若手行政担当者を対象とした短期研修等をSciREX関係機関等と共同で実施

- GRIPS大学ベンチマーキングセミナー (毎年秋～冬)

大学の研究企画担当、URA等を対象にした、組織の研究力の評価・分析手法についての集中講座



2) 民間企業とのワークショップ

- GRIPS-JMA Joint Workshop

日本能率協会 (JMA) との共催。留学生 (アジア各国の現役行政官が中心) と日本企業の幹部候補生が共同で新興国での事業戦略を立案するワークショップを開催。



学生派遣元 (※旧プログラムの実績含む)

【中央省庁】文部科学省、厚生労働省、経済産業省、原子力規制庁

【研究開発法人】科学技術振興機構 (JST)、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

【海外機関】在日英国大使館、タイ国家科学技術イノベーション局 (STI)、タイ科学技術開発庁 (NSTDA)、台北駐日経済文化代表処、米国陸軍、ベトナム科学技術省、インドネシア研究技術高等教育省等 (この他、エジプト、パキスタンから留学生を受入)

お問い合わせ

政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策プログラム (GIST)

GRIPS Innovation, Science and Technology Policy Program (GIST)

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

メール: gist-ml@grips.ac.jp

HP: <http://gist.grips.ac.jp/>

